

【メールマガジン～近畿運輸局公共交通だより】

2022年6月16日配信（No. 79号）

本メールは、公共交通政策全般について皆様に広く関心を持って頂くため、国土交通省総合政策局交通政策課が作成した全国の情報に、近畿運輸局において主に近畿地方の情報を加えて編集し、情報発信するものです。

☆☆☆ご意見・情報がありましたら、以下までお寄せ下さい。☆☆☆

★★★ご意見や情報、メールアドレスの変更はこちらへ★★★

kkt-kinki-kikakuka@mlit.go.jp

なお、本メールの配信停止を希望される方は、上記アドレスまで「配信停止」と記入のうえお知らせください。また、本メールは出典を明記のうえで、関係者の方々に回覧・転送していただいても結構です。

※関係団体の皆様におかれましては、関係交通事業者あてに転送くださると幸いです。

平素より、当メールマガジンをご愛読いただきありがとうございます。
今回は以下のラインナップでお送りいたします。



「乗合バス運賃施策事例集（近畿バス団体協議会）」が公表されました！

（近畿運輸局）

<掲示板>

- ☆ 地域公共交通支援センターについて
- ☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」について

「乗合バス運賃施策事例集（近畿バス団体協議会）」が公表されました！

（近畿運輸局）

今般の新型コロナの影響が長期化し、乗合バス事業においては収支改善の必要性がより強まっています。

新型コロナの拡大前より運行にかかわるコストの抑制を進めていた事業者各者では、運賃施策の変更や運行計画の見直しによる対応を余儀なくされているところです。

このような状況下、収支改善を目的とした短期的な対応策としての運賃の値上げや割引率の低下などの動きや、コロナ禍での生活様式の変化に伴う移動パターンの変化に対応した運賃設定の工夫、行政補助による利用者の負担軽減や事業分野を超えた新たな連携などの取り組みが見られます。

これら種々の取り組みについて、コロナ以前のものも含め、対象となる利用者や工夫の方向性などにより整理し、「乗合バス運賃施策事例集」を作成しました。バス事業者様、地方自治体ご担当者様を始めとする関係される皆様にご参考としていただけますと幸いです。

なお、本事例集は、大阪バス協会（近畿バス団体協議会事務局）（※）などのHPで公表しています。

（※） <http://www.osakabus.or.jp/news/details.php?pkId=702>

個別事例資料（35事例）

－ 3章 乗合バス運賃施策の事例（各者の事例紹介） －

事例⑩近鉄バス ★行政との連携により実現

富田林市内路線バス100円運賃キャンペーン（行政支援）による利用促進
(2020年11月1日～2021年2月28日)

ターゲット (f) 限定しない
工夫の方向性 (1) 所定運賃や従来回数券・定期券の価格変更（値下げ）

【内容】
・富田林地域の路線バス（南海バス・近鉄バス・金剛バス）に平日10時～15時、土休祝日の終日に利用された方は大人100円・小児50円で乗車いただける制度。
・基準運賃の差額分を行政が補助金として交付するもの。
・その他富田林市には、フレス、リフレット作成、ウェブサイト掲載関係でご協力いただいた。

【具体的なターゲット】
・富田林市民

【背景・狙い】
・コロナ禍において利用者が減少する公共交通機関を、富田林市施策での利用促進により応援するもの。

【施策実施時の課題や調整にあたっての工夫】
・利用者への周知が課題であったほか、運賃過収受が発生しないようシステム対応等について、入念にチェックし、不備のないよう取り組んだ。

【施策実施後の結果】
・近鉄バス利用人員が約19%増加した。

【今後の課題】
・一過性の取組みで終わらせず、市民、行政、交通事業者が一体となり、市民のニーズに沿った乗合バスを安定的・継続的に運行するための取組みが必要。

富田林市バス事業者応援
～公共交通をみんなで支えよう～

コロナにおいて利用者の減少する公共交通機関も応援することを目的として、富田林市独自の施策として「近鉄バス・南海バス・金剛バス」に大人100円・小児50円で乗車いただける制度を実施します。

実施期間
～実施期間～
令和3年11月1日から令和3年2月28日まで
～対象路線・便～
・富田林市内を運行する路線で、平日・土休祝日の終日に乗車する乗客の乗車料を100円・小児50円に減額させていただきます。
※ 令和3年11月1日より乗車料を減額するダイヤを順次運行する予定です。

～利用方法～
・乗車バスを利用
現金・交通系ICカード・乗車バス専用ICカード・乗車バス専用ICカードで決済できます。
※ 詳しくは、2ページをご覧ください。
・近鉄バスを利用
現金・交通系ICカード・近鉄バス専用ICカードで利用できます。
※ 詳しくは、3ページをご覧ください。
・金剛バスを利用
乗車バス販売窓口で販売している乗車バス専用ICカードで利用できます。
※ 詳しくは、4ページをご覧ください。

参照元： <https://www.city.tondabayashi.lg.jp/uploaded/attachment/70465.pdf>

(掲載情報は令和4年3月31日時点のものです)

各事例を施策とターゲットの軸で表に整理

		工夫の方向性					
【軸1】何を(施策)	【軸2】誰に(ターゲット)	(1) 所定運賃や従来回数券・定期券の価格変更		(2) 企画商品の設定	(3) 支払単位の工夫	(4) デジタル化(IC・ポイント)	(5) 利用範囲や効力の拡大
		値上げ	値下げ				
日常 非日常 ターゲット	(a) 通勤		①山陽バス				
	(b) 通学			②近江鉄道★			③奈良交通 ④阪神バス★
	(c) 生活(朝・昼・夜)			③近江鉄道★ ⑤愛知県豊橋市★		⑦奈良交通	⑧神戸バス ⑨九州産交バス
	(d) 生活(お出かけ・ゆいゆい)				⑧九州産交バス		
	(e) 観光	①京都市交			②近江鉄道 ③西バス		
(f) 限定しない	⑧京阪バスG ⑨南海バスG	⑩神姫バス★ ⑪南海バス★ ⑫近鉄バス★ ⑬熊本県小山市★ ⑭丹後海陸交通★ ⑮全但バス★				②帝産湖南交通 ③大阪府バス ④山陽バス ⑤近鉄バス ⑥山陽バス ⑦神戸市交 ⑧京都市交 ⑨阪急バス ⑩神戸市交	

行政施策で利用者負担軽減

ICカードポイント導入

連携によるシームレス化

凡例： ◎ 交通事業者間の連携により実現
☆ 交通事業者以外との連携により実現（本源需要との連携）
★ 行政との連携により実現

< 掲 示 板 >

☆ 地域公共交通支援センター

地域交通課では、市町村をはじめとする各地域の関係者が、地域公共交通の確保・維持に取り組む際に有効に活用いただくため、全国各地における様々な先進事例（約300事例）を蓄積している「地域公共交通支援センター」を運用しております。

「地域公共交通支援センター」は、地域、人口、交通モード等により、先進事例を検索することも可能となっております。是非ご活用下さい。

<地域公共交通支援センター> <http://koutsu-shien-center.jp/index.html>

☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」

公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」（以下「キャラクター」という。）は、公共交通の利用促進について、より効果的な広報・啓発を行うことを目的としております。

キャラクターの使用を希望される場合、地方運輸局交通政策部交通企画課までお問い合わせ下さい。申請手続きについてご案内致します。

なお、「地域公共交通支援センター」においても、キャラクターの申請手続き、使用方法、FAQをご案内しております。

公共交通利用促進キャラクター のりたろう



大好きな公共交通機関で働くことを夢見ていたが、ネコでは単独で乗り降りができないことから一念発起。自らが新たなハイブリッド公共交通機関に進化することで夢を実現し、現在は利用促進PRの先頭に立って活動している。

駅長を務めるなど活躍中の仲間達を同じネコとして尊敬しており、いつか会って公共交通について熱く語り合いたいと思っている。

- ・移動手段は「ネコ足歩行」
- ・自由に移動できるが、疲れてしまうので 100 歩ごとに休憩が必要
- ・乗車可能人数は運転士（のりたろう本人）を含めて 1 名のみ！

読者の皆様からのご要望や全国に共有したい情報等がございましたら、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

国土交通省総合政策局交通政策課 澤里・渡辺
〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3（中央合同庁舎3号館3階）

TEL：03-5253-8986（直通）

FAX：03-5253-1513

E-mail: hqt-koutsuseisaku_joho@gxb.mlit.go.jp

★国土交通省HP（情報発信のページ）

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html



